

## 神に喜ばれる信仰

へブライ人への手紙一―章4〜7節

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、……信じていなければならぬからです。(6)

信仰生活に疲れを覚えていた者たちに、「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません」と著者は語りました。私たち信仰者は、神に喜ばれることを第一に求める者たちだということでしょう。そのために必要なものは信仰です。その信仰について著者は、「神が存在しておられること、また、神がご自分を求める者に報いてくださる方であることを信じていなければならぬ」と語ります。神を信じるとは、ただ神が存在しておられるのを信じるといっただけではありません。その神が、ご自分を求める者たちに答えてくださる方であることを信じることで、す。信仰とは、「答えてくださる神」の存在を信じ抜くことです。そのとき、私たちの信仰は単なる知識のレベルから、自分の全存在をかけた命あるものへと変わります。今日も、神に喜ばれる信仰をもつて過ごしたいものです。